

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー	
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：2,078人 (岡山事業所：978人、倉敷事業所：628人、鶴海事業所：304人、くらしき研究センター：168人)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山事業所		岡山市南区海岸通1丁目2番1号	
	②	倉敷事業所		倉敷市玉島乙島7471番地	
	③	鶴海事業所		備前市鶴海4342番地	
	④	くらしき研究センター		倉敷市酒津2045番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和3)年度排出量	目標年度(令和4年度)
	761,007 t CO ₂	804,745 t CO ₂	738,177 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和3)年度排出量
	①	岡山事業所	617,922 t CO ₂
	②	倉敷事業所	167,425 t CO ₂
	③	鶴海事業所	17,182 t CO ₂
	④	くらしき研究センター	2,216 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和4年度	(3箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(3)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△5.7%	3.0%	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(3)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和3年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・令和3年度温室効果ガス排出量は、基準年度(令和元年度)に対して、+43,738 t CO₂(岡山事業所△16,890 t CO₂、倉敷事業所+59,486 t CO₂、鶴海事業所+1,608 t CO₂)、5.7%増加し、目標とした△1%/年(3年間で△3%)の削減を達成出来なかった。
 ・省エネ対策は、確実に実施したが、倉敷事業所でバイオマスボイラーの蒸発管に塩素腐食の傾向が確認されたため令和3年4月より木屑燃料の使用を停止し、これを補うため石炭の使用量が増加したことにより、温室効果ガス排出量は、+59,486 t CO₂増加(エネルギー起源：+57,372 t CO₂(+77%)、6.5ガス：+2,114 t CO₂(+6%))した。
 ・今後も、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

【推進体制】

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO2削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和3年度実施分) 岡山事業所	(令和3年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ポパールM-2T(B)のトレイ最適化によるスチーム使用量削減 (CO2削減量792t/年) ポパール重合B列RS-1023生産時P-8塔留出共沸液のVAM%増加による9塔負荷削減 (CO2削減量1,336t/年)
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> 8B廃プラ燃料増による石炭削減 (CO2削減量1,600t/年) (令和4年4月8B廃止)
(今後実施予定分) 岡山事業所	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> 11B未燃率改善による燃料使用量削減 (CO2削減量950t/年) ビニロン製造工程での標準外PVA・Re-PVAの活用 (CO2削減量6,854t/年) 高効率ボイラ(12B)、タービン発電機(7T)導入による省エネ (CO2削減量17,000t/年)
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> 貫流ボイラ 熱回収による効率改善 (CO2削減量320t/年) 排水設備嫌気ガス燃料化によるボイラ燃料減 (CO2削減量970t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	岡山事業所で『おかやまCO2フリー電気』を導入(令和4年7月～)
その他	無	

【その他特記事項】

--